２０　　年国外気球実験　申込書

（ＪＡＸＡが主体となって実施する国外での気球実験）

国立研究開発法人　宇宙航空研究開発機構　宇宙科学研究所長　殿

[申請年月日]

１．研究内容

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究課題名 | [研究課題名と，もしあれば実験名を記入してください。] | | | | | |
| 研究領域  (主領域に◎，副領域に○) | [　]天文 | [　]宇宙線・宇宙物理 | | [　]地球惑星科学 | [　]宇宙工学 | [　]微小重力科学 |
| 研究目的，研究方法の概要　[項目1, 2までで1ページ以内に収まるようにしてください] | | | | | | |
|  | | | | | | |
| 今回の気球飛翔で期待される成果 | | | 気球飛翔要求を演繹的に導出できるように，典型的に期待される成果と，  最低限獲得されなければならない成果がわかるように記入してください。 | | | |
|  | | | | | | |

２．研究代表者

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | [氏名] | | Ｅメール | | [Eメールアドレス] | |
| 所属研究機関・部局・職 | | [機関・部局・職] | | | | |
| 住所 | 〒　　　-  [住所] | | | | | |
| 電話 | (　　　　)XXXX | | | FAX | | (　　　　)XXXX |

３．気球飛翔要求

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 放球場所 | 豪州アリススプリングス | 放球時期 | ２０　　年 | ３～５月 | １０～１２月  (現時点で予定無し) |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 要求 | 実験目的からのブレークダウンにより満たさない場合に実施意義を失う条件 | 希望 | 期待される成果を十分にあげるために必要な条件 |
| 最高到達高度 | ○○　ｋｍ | | ○○　ｋｍ | |
| 高度安定性  （もしあれば） | ±○○　ｋｍ | | ±○○　ｋｍ | |
| 最高高度飛翔時間 | 時間　　分以上 | | 時間　　分以上 | |
| 最高高度到達時刻  （もしあれば） | 午前　　時　　分以降 | | 午前　　時　　分以降 | |
| その他特殊な要求 | [放球時期を特定する事情，飛翔中の高度変更，上昇下降速度の制限などがあれば記述してください。] | | | |

４．ペイロード/ゴンドラ

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| サイズ | | （幅）○○　ｍ | | （奥行）○○　ｍ | | （高さ）○○　ｍ | | |
| 重量 | | ○○　ｋｇ　（搭載実験機器，電源，ゴンドラ構造体を含む） | | | | | | |
| 実験装置の概要　[実験装置の構成，運用の概略，要求する通信などについて簡略に記述してください] | | | | | | | | |
| 資金計画 | 搭載機器，ゴンドラ構造体，実験旅費などを含めた実験実施に必要な経費の獲得状況 | | | | 獲得済み | | 申請中 | |
| 過去の国内外実験飛翔実績 | | | あり　(２０　　　　年　　　月） | | | | | なし |
| 過去に飛翔実績がある場合には最後の実験実施以降の変更点  [特に飛翔安全に関わる構造体や電子機器の変更に留意して記述してください] | | | | | | | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 受付日 | [受付日] | 受付番号 | [受付番号] |

※本申込情報については，大気球専門委員会での選定審査及びそれに関する通知以外に使用することはありません。

５．研究目的

|  |
| --- |
| 本欄には申請する研究の目的とその科学的意義について記述してください。本申請がある大きな研究の一部をなしている場合には，研究全体の目的と，本申請で実施する気球実験の目的を明確に分け，本申請が研究全体の中でどのように位置づけられているかも記述してください。 この項目で1ページ以内に収めてください。 |
|  |

６．研究計画

|  |
| --- |
| 本欄には研究目的を達成するためにどのような研究計画を実施しようとしているのかを記述してください。またその研究計画の独創性などについても述べてください。ここでいう研究計画とはスケジュールのことではありません。研究目的のために気球実験が不可欠であり、かつ本申請のアプローチが研究目的を達成するための最適な手段であることを述べてください。  この項目で１ページ以内に収めてください。 |
|  |

７．フィージビリティ

|  |
| --- |
| 本欄には申請する気球実験のフィージビリティについて，（１）技術的成熟度，（２）実施体制，（３）スケジュール（工程表），（４）研究経費の確保，（５）その他の観点から記述してください。現段階でフィージビリティに懸念が存在する場合には，その懸念にどのように対処しようとしているのかについても記述してください。　この項目で１ページ以内に収めてください。  もし実験実施時期が変更になった場合に本欄の内容が変わる可能性があれば，その内容についても記述してください。  なお，本欄以外の欄も内容が変わる可能性があれば，補足資料で説明してください。 |
|  |

８．関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ

|  |
| --- |
| 本欄には関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけを，本申請の緊急度や優先度がわかるように記述してください。  この項目と次の項目で１ページ以内に収めてください。 |
|  |

９．これまでに実施した大気球実験，観測ロケット実験などで得られた成果

|  |
| --- |
| 本欄には過去に大気球や観測ロケット等で実施した実験があれば，その成果の概要を公表の方法も含めて記述してください。特に今回申請する実験と関連のある実験を実施した場合には，過去の実験と今回の実験の関連も併せて記述してください。  この項目と前の項目で１ページ以内に収めてください。記載スペースが足りない場合は補足資料で説明してください。 |
|  |

１０．本研究で期待される教育等への効果

|  |
| --- |
| 本欄には，本研究によって期待される人材育成など教育的な効果があれば，その内容を記述してください。  この項目と次の項目で１ページ以内に収めてください。 |
|  |

１１．本研究で期待される波及効果

|  |
| --- |
| 本欄には，将来の他実験への還元効果や他分野への影響，将来の大気球実験の高度化への貢献など，本研究によって期待される波及効果があれば，その内容を記述してください。  この項目と前の項目で１ページ以内に収めてください。 |
|  |

※ 本申込書は７ページ以内に収まるようにしてください。補足資料を添付する場合，補足資料のページ制限はありません。